

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課県立学校改革推進室長	津森敬次	電話番号	0852-22-6723
----------	-----------------	------	------	--------------

事務事業の名称	県立学校の再編成			
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒		
	(2) 意図	高校教育の水準を確保し、魅力と活力ある学校づくりをしていくために、県立学校の適正な配置や規模の適正化を行い、望ましい教育環境を確保していく。		
事業概要	高校教育の水準を確保し、魅力と活力ある学校づくりを進めるため、①ある程度通学が可能な広域エリアにおいて統廃再編成を行うことにより望ましい学校規模を確保し、②生徒にとって魅力ある教育環境を整え学校の活性化を図るという考え方にに基づき、高校の再編成を進める。			

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 再編成計画の実施率	目標値		85.0	90.0	95.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 3～8学級規模の学校数/全学校数	実績値	76.5	73.5				
		達成率	-	86.5	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,884	7,631
うち一般財源 (千円)	5,884	7,631

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・県立高等学校再編成計画の統廃合基準に該当する1学年2学級以下の県立高校は34校中9校(昨年度より1校増)
- ・1学年3学級の県立高校は7校(うち3校は1学級30人定員、標準は40人)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

平成28年度入試の定員設定において、現行の再編成基本計画に基づき、3校で3学級の減を実施(松江北、松江南、江津工業)し、規模の適正化を図った。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

少子化により入学定員の適正化を図る必要があるが、統廃合基準に沿って高校の統廃合を進めることができないため、学級減により対応せざるを得ない状況がある。

②困っている状況が発生している「原因」

・統廃合基準に該当する多くの高校は、地域コミュニティーや文化的拠点の役割を果たしていたり、地域の活力を引き出している。このため、地元自治体、地域住民が高校の存続に向けた活性化対策に取り組んでおり、その活動を見守る必要がある。

③原因を解消するための「課題」

・地域における高校の役割と生徒にとって望ましい教育環境をどのように判断していくか
・生徒にとって望ましい教育環境を整える観点を中心に据えつつも、県の施策と整合性があり、各地域及び関係機関等のニーズを十分反映した統廃合基準となるよう見直しが必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

「今後の県立高校の在り方検討委員会」から今年度中に提言を受ける予定であり、その後、教育庁にて2020年代の県立高校の在り方を示すビジョンを策定する予定である。今後は、このビジョンに基づき高校の再編成を進めていくことになる。